

# 事後評価書

要因 事業	(1) 事業概要	(2) 事業による環境の変化	(3) 事業を巡る社会経済情勢の変化	(4) 事業により整備された施設の維持管理状況	(5) 県民の意見												
農業農村整備事業	<p>○事業名 ため池等整備事業 (ため池整備工事) (利活用保全整備工事)</p> <p>地区名 鹿ノ口地区</p> <p>所在地 杵島郡江北町大字上小田</p> <p>工期 ・当初工期 平成13年度～平成15年度 ・変更工期 変更なし</p> <p>総事業費 ・当初事業費 総事業費150,000千円 (本工事)130,000千円 (利活用) 20,000千円 ・変更事業費 総事業費149,000千円 (本工事)129,600千円 (利活用) 19,400千円</p> <p>事業内容 (本工事) ・堤体補強工 L=65m ・取水施設工 1式 ・洪水吐工 1式 (利活用) ・泥土しゅんせつ・運搬 V=3,881m<sup>3</sup> ・整地工 農地22箇所 3.4ha</p> <p>関連する事業 該当なし。</p> <p>背景 本地区は、経年変化により堤体法面の浸食が進行し、堤体断面の変形や余裕高不足が生じている。 また、取水施設は老朽化により、取水部の水密性が低下し漏水している。 洪水吐は、通水断面が不足しており、下流部については、土水路のままとなっている。 このような状況から、ため池決壊の危険性が非常に高い。 さらに、ため池内には、長年に亘り上流からの土砂の流入により貯水容量が減少し、大雨時の洪水の一時貯留機能も低下している。</p> <p>目的 ため池堤体の補強工事を行うことにより、ため池の決壊を未然に防止し、下流域の人命・人家・公共施設等の安全を確保するとともに、安定した農業用水を確保し、農業経営の安定を図る。 また、ため池内に堆積した土砂をしゅんせつすることにより、貯水容量の回復を図り、しゅんせつした土砂は、農地の耕土として有効利用する。</p>	<p>生活環境 事業を実施したことにより、ため池決壊の危険性が解消され、下流域の人命・人家・公共施設等の安全性が高まった。</p> <p>自然環境 本事業は、老朽化したため池の補強工事であり、周辺環境への影響はない。</p> <p>社会環境 ため池内に堆積した土砂をしゅんせつしたことにより、ため池の貯水容量が回復し、大雨時の洪水の一時貯留機能が回復した。</p>	<p>受益農家のニーズの多様化 県で実施しているため池等整備事業は、防災の観点から、ため池整備工事を主に実施している。 しかし、本地区に限らず、農業従事者の高齢化や農業経営者の減少が進み、ため池内の泥上げ管理が殆ど行われていない状況であり、しゅんせつに対する要望が増加している。</p>	<p>本地区は、「江北町上小田土木委員会」を組織されて、本地区を含む7つのため池を共同管理されている。 本地区は、年2回(5月、9月)堤体の草刈り管理が行われており、用水時期の見回り管理も行われている。</p>	<p>(地元関係者からの聞き取り) 事業実施による効果 ・堤体や取水施設からの漏水が解消された。 ・取水施設が改修されて、操作がしやすくなった。 ・ため池に溜まった泥土がしゅんせつされて、貯水容量が回復した。</p> <p>事業完了後の問題 ・堤体法面の保護のために布製型枠ブロックマットが使用されているが、表面の凹凸が大きく、草刈り機による管理がやりにくい。</p> <p>事業推進における苦労 ・ため池内に堆積した土砂の受け入れ農地がなかなか決まらず、地元役員は調整に苦労した。</p>												
		<p>(6) 事業の効果</p> <p>事業の直接的効果 事業の実施により、ため池決壊の危険性が解消され、決壊による想定被害(農地の耕土流失・土砂埋没、作物被害、水路・農道など農業用施設の損壊、家屋の損壊・浸水、道路・橋梁など公共施設の損壊)の防止が図られた。 また、ため池内に堆積した土砂をしゅんせつしたことにより、本来の貯水容量が回復した。 (貯水容量 69,800m<sup>3</sup>) (事業計画書の想定被害額)</p> <table border="1" data-bbox="691 1493 1059 1709"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>被害額(百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地被害</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>農作物被害</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>農業用施設被害</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>家屋被害</td> <td>173</td> </tr> <tr> <td>公共施設被害</td> <td>169</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>656</td> </tr> </tbody> </table> <p>被害の防止</p> <p>事業の間接的効果 ため池の補強工事を行い、ため池内の堆積土砂をしゅんせつしたことにより、貯水効率と貯水容量が回復し、安定した農業用水が確保され、農業経営の安定が図られた。 また、しゅんせつ土を有効利用して農地の狭地倒しを行ったことにより、農作業の効率化が図られた。</p>	区分	被害額(百万円)	農地被害	154	農作物被害	34	農業用施設被害	126	家屋被害	173	公共施設被害	169	合計	656	<p>(7) 地域住民との関わり</p> <p>本地区は、ため池直下流に住宅があり、ため池の安全性については地域住民の関心が高く、事業計画段階から事業推進に熱心であった。 また、受益農家は、ため池内に堆積した土砂のしゅんせつを強く要望されていたため、利活用保全整備工事の実施ができた。</p>
区分	被害額(百万円)																
農地被害	154																
農作物被害	34																
農業用施設被害	126																
家屋被害	173																
公共施設被害	169																
合計	656																